

政策シート

(政策名) 環境に配慮した資源循環型社会の構築
 (予算費目名) ごみ減量推進費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー・等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

○ごみ減量教育推進事業
 生ごみの水切り・ひとしぼりをはじめとするごみ減量を推進するための啓発や、小学生向けの社会科副読本等の作成配布等を行う。

○生ごみ減量推進事業
 たい肥化容器の無料配布、家庭用生ごみ処理機購入費補助金の交付等により、生ごみの減量を推進する。

○資源物集団回収団体活動促進事業
 古紙類・古着類等の資源物を自主的に回収する活動に対する資源物集団回収協力金の交付等を行う。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	189,405	160,401	149,683	138,928
決算	165,746	133,618	125,755	
人件費(A)	107,100	103,700	96,700	96,700
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	272,846	237,318	222,455	235,628

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
1人1日あたりのごみ排出量	g	851	目標	886	879	872	866
			実績	901	891	873	
リサイクル率	%	30.1	目標	21.4	21.5	22.5	23.6
			実績	19.6	19	19.2	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

○ごみ減量教育推進事業
 生ごみの水切り・ひとしぼりをはじめとするごみ減量を推進するための啓発や、小学生向けの社会科副読本等の作成配布等を行う。

○ごみ減量推進運営経費
 市施設にて使用済小型家電や廃食用油、古紙類・古着類の回収を行う。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

○ごみ減量教育推進事業
 自治会を対象とした ごみ減量・3R説明会を60回開催した。
 「やらまいか水切りプレス」を小学4年生やごみ減量・3R説明会参加者に対して約26,000個を配布した。

○ごみ減量推進運営経費
 使用済小型家電は55箇所、廃食用油は69箇所、古紙類・古着類は16箇所を回収を行った。また、みどりのリサイクルを6箇所で開催した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	ごみ減量・リサイクル推進事業	○	○	○		164,041	127,221	4.9			0.9	
2	ごみ減量推進運営経費					71,587	11,707	8.0	1.0		0.1	
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						235,628	138,928	12.9	1.0		1.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) ごみ減量・リサイクル推進事業

◇事業目的・事業対象

市民との協働により、家庭から排出されるごみの減量施策を推進し、持続可能な資源循環型社会の構築を目指す。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.62】

○生ごみ減量推進事業

たい肥化容器の無料配布、家庭用生ごみ処理機購入費補助金の交付のほか、食品ロス削減に取り組むことで、生ごみの減量を推進する。

○資源物集団回収団体活動促進事業

古紙類・古着類等の資源物を自主的に回収する活動に対する資源物集団回収協力金の交付等を行う。また、古紙回収量が前年より増加した団体には、増加分に対して協力金を2円アップし、回収の拡大を図り家庭系もえるごみの減少を図る。

○みどりのリサイクル推進事業

○環境美化活動推進事業

地域の環境美化活動を支援するため、協力金を交付するとともに環境美化推進員区会議及び研修会を開催する。

○ごみ減量教育推進事業

生ごみの水切り・ひとしぼりをはじめとするごみ減量を推進するための啓発や、小学生向けの社会科副読本等の作成配布等を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S55	-	一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	181,064	150,108	142,008	127,221
	決算	158,449	124,026	118,562	
	国・県支出				
	市債				
	その他	3,515	90,586	71,000	65,000
	一般財源	154,934	33,440	47,562	62,221
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		36,400	35,700	39,620	36,820
人工	正規	4.8	4.7	5.3	4.9
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤	1.0	1.0	0.9	0.9

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
ごみの総排出量(t)				-		62
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	258,338	254,805	252,070	249,678	248,724	239,643
実績値	263,241	259,205	257,080			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
1人1日あたりのごみ排出量(g)				-		-
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	886	879	872	866	862.7	851
実績値	901	891	873			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
リサイクル率(%)				-		-
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	21.4	21.5	22.5	23.6	24.6	30.1
実績値	19.6	19	19.2			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

【重点戦略項目 No.62】
 ○生ごみ減量推進事業
 たい肥化容器の無料配布、家庭用生ごみ処理機購入費補助金の交付等により、生ごみの減量を推進する。
 ○資源物集団回収団体活動促進事業
 古紙類・古着類等の資源物を自主的に回収する活動に対する資源物集団回収協力金の交付等を行う。
 ○みどりのリサイクル推進事業
 ○環境美化活動推進事業
 地域の環境美化活動を支援するため、協力金を交付するとともに環境美化推進員区会議・研修会を開催する。
 ○ごみ減量教育推進事業
 生ごみの水切り・ひとしぼりをはじめとするごみ減量を推進するための啓発や、小学生向けの社会科副読本等の作成配布等を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

 【実施事業】
 たい肥化容器の無料配付は1,041世帯に配布済み。家庭用生ごみ処理機購入費補助金は73世帯に1,038千円を交付した。
 資源物集団回収協力金の交付等を行った。また、自治会を対象に資源物集団回収保管庫を無償貸与した。環境美化推進員を対象とした区会議及び研修会を開催した。
 ごみ減量・3R説明会を60回開催した。
 「やらまいか水切りプレス」を小学4年生、ごみ減量・3R説明会参加者及び市内転入者等に対して約26,000個を配布した。

・事業の見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 どの事業も概ね計画どおりに実施した。ごみ減量・3R説明会は、これまでは自治会を対象に実施してきたが、市内の大規模事業者等にも呼びかけをし開催した。水切りプレスや雑がみ分別袋は例年どおり配布したが、今年度は小学4年生に夏休み期間中にグッズを使った生ごみの水切りや雑がみの分別にチャレンジしてもらったことで、どれくらいの減量効果が出たのかが確認できた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工
 ごみ減量・3R説明会の開催は、一人当たりのごみ排出量の多い行政区をターゲットに拡大を図る。また「やらまいか水切りプレス」の配布について、市内各所で開催されるイベントに出向き、雑がみの分別PRと共に周知啓発を図る。雑がみ分別袋は、積極的に古紙類の回収を行っている学校等に配布を限定するなど、配布方法を検討する。

補助シート (事業名) ごみ減量・リサイクル推進事業

◇事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
62	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭から排出されるごみの減量 ・生ごみ減量推進事業の実施 ・資源物集団回収団体活動促進事業の実施 ・みどりのリサイクル推進事業の実施 ・ごみ減量教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭から排出されるごみの減量 ・生ごみ減量推進事業の実施 ・資源物集団回収団体活動促進事業の実施 ・みどりのリサイクル推進事業の実施 ・ごみ減量教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭から排出されるごみの減量 ・生ごみ減量推進事業の実施 ・資源物集団回収団体活動促進事業の実施 ・みどりのリサイクル推進事業の実施 ・ごみ減量教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭から排出されるごみの減量 ・生ごみ減量推進事業の実施 ・資源物集団回収団体活動促進事業の実施 ・みどりのリサイクル推進事業の実施 ・ごみ減量教育の実施

平成30年度

(管理番号)
04 01 03 01 001505000 01

(担当課)
ごみ減量推進課

(責任者)
石岡 琢磨

(作成日)
平成 30 年 7 月 1 日

行財政改革の取り組み (事業名) ごみ減量・リサイクル推進事業

◇取組概要

市民との協働により家庭から排出されるごみの減量施策を推進し、持続可能な資源循環型社会の構築を目指す。
ごみ減量・資源化・適正処理を推進し、新清掃建設計画の際に更新施設から規模を縮小し、建設コスト・運営コストの削減を目指す。

◇行財政改革の視点 3 ファシリティマネジメントの推進

◇行財政改革の進行管理(行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する項目に記載)

行政経営計画 取組番号 _____

取組事項名 _____

個別計画等 計画名等 一般廃棄物処理基本計画(環境審議会へ進捗状況の報告)

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値	
1	ごみの総排出量(t/年)	計画値	258338	254805	252070	249678	(H30)249678
		実績値	263241	259205	257080		
2		計画値					
		実績値					
3		計画値					
		実績値					
効果額(千円)							

◇行財政改革の評価

《年度末の進捗状況 計画通り》
今後も市民との協働により、家庭から排出されるごみの減量施策を推進していく。

事業シート (事業名) ごみ減量推進運営経費

◇事業目的・事業対象

・循環型社会形成のための推進計画や一般廃棄物処理に関しての処理計画及び許可事務等を通して全体的な調整を行う。
 ・ごみ減量推進費の業務を円滑に運営する。

◇事業の概要

・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一般廃棄物処理業の許可及び一般廃棄物再生利用業の指定等に係る事務を行う。
 ・浜松市廃棄物の減量及び資源化並びに適正処理等に関する条例に基づき、大規模建築物所有事業者に対する計画書の提出義務付けや立入検査等の事務を行う。
 ・平成31年度の一般廃棄物処理基本計画の中間見直しに向けた現状把握等のため、家庭や事業所から排出されるもえるごみの組成を調査する。また、家庭系ごみに関する市民意識調査を実施する。
 ・市施設にて使用済小型家電や廃食用油、古紙類・古着類の回収を行う。
 ・生活環境改善活動功労者表彰式を開催する。
 ・災害廃棄物仮置場設置に向けた現地調査の実施や仮置場レイアウト図の作成をする。
 ・全国都市清掃会議、大都市清掃事業協議会、静岡県都市清掃協議会、廃棄物研究財団等との連絡調整を行う。
 ・浜松市清掃公社との総合調整。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S62	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	8,341	10,293	7,675	11,707
	決算	7,297	9,592	7,193	
	国・県支出				
	市債				
	その他	490	160	160	160
	一般財源	6,807	9,432	7,033	11,547
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		70,700	68,000	57,080	59,880
人工	正規	10.1	9.2	7.6	8.0
	再任用(h31)		1.0	1.0	1.0
	再任用(h26)				
	非常勤			0.1	0.1

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一般廃棄物処理業の許可及び一般廃棄物再生利用業の指定等に係る事務を行う。

・浜松市廃棄物の減量及び資源化並びに適正処理等に関する条例に基づき、大規模建築物所有事業者に対する計画書の提出義務付けや立入検査等の事務を行う。

・事業系一般廃棄物減量施策について、事業系廃棄物の適正処理・減量のチラシ「事業系ごみ減量インフォメーション」を作成し、排出事業者あて配布する。

・大規模建築物所有事業者向け廃棄物適正処理・減量研修会を実施する。

・市施設にて使用済小型家電や廃食用油、古紙類・古着類の回収を行う。

・生活環境改善活動功労者表彰式の開催。

・災害廃棄物処理に関する研修会の開催やマニュアルの策定。

・全国都市清掃会議、大都市清掃事業協議会、静岡県都市清掃協議会、廃棄物研究財団等との連絡調整。

・浜松市清掃公社との総合調整。

・事業の成果と課題

指標の達成度

○一般廃棄物処理業許可事務 更新許可:49件、一般廃棄物再生利用業指定事務 延長指定:6件

○事業系一般廃棄物減量施策の実施
大規模建築物から排出される廃棄物の現状把握と減量・資源化・適正処理の意識を高めてもらうため、同所有者に対して関係計画書の提出と管理責任者の選任を求めると同時に、立入検査を実施した。
計画書提出数:338件、立入件数:120件

○事業系一般廃棄物減量施策について、事業系廃棄物の適正処理・減量のチラシ「事業系ごみ減量インフォメーション」21,000部を作成し、商工会議所・商工会を通じて各会員に配送した。

○使用済小型家電は55箇所、廃食用油は69箇所回収を行い、区役所、清掃・境事業所等16箇所古紙類・古着類の回収を行った。

○大規模建築物所有事業者向け廃棄物適正処理・減量研修会を可美総合センター等で開催した。(5/11、5/22)

○生活環境改善活動功労者表彰式を開催した。(団体・個人受賞者数:20)

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・一般廃棄物処理業の許可及び一般廃棄物再生利用業の指定等に係る事務を行った。

・大規模建築物所有事業者に対する計画書の提出義務付けや立入検査等の事務を行った。

・災害廃棄物処理に関する研修会及びマニュアルを策定した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・平成31年度の一般廃棄物処理基本計画の中間見直しに向けた現状把握等のため、家庭や事業所から排出されるもえるごみの組成を調査する。

・災害廃棄物処理計画やマニュアルの随時見直しを行う。また、発災後に必要となる仮置場の設置ため、現地調査、必要な人員・資機材の検討及び分別レイアウト図の作成を行う。

平成30年度

(管理番号)
04 01 03 01 001505000 02

(担当課)
ごみ減量推進課

(責任者)
石岡 琢磨

(作成日)
平成 30 年 7 月 1 日

行財政改革の取り組み (事業名) ごみ減量推進運営経費

◇取組概要

(一財)浜松市清掃公社の業務や経営について関与する。公益法人制度改革に伴い、平成24年4月に清掃公社は一般財団法人に移行し、平成26年末時点で清掃公社職員の給与は市職員に準じたものとなった。

◇行財政改革の視点 4 市民協働・官民連携の推進

◇行財政改革の進行管理(行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する項目に記載)

行政経営計画 取組番号 4001-8

取組事項名 (一財)浜松市清掃公社の経営健全化

個別計画等 計画名等 外郭団体コミットメント

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	計画値					
	実績値					
2	計画値					
	実績値					
3	計画値					
	実績値					
効果額(千円)						

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 ▶

政策シート

(政策名) 環境に配慮した資源循環型社会の構築

(予算費目名) 南清掃事業所費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

・一般廃棄物処理基本計画に基づき、市内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別収集を徹底し、衛生的に処理する。
 ・不法投棄、不当排出対策、集積所の管理など、安全で衛生的な住環境を維持するため、環境美化活動を推進する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	214,727	232,827	268,851	275,718
決算	212,287	228,641	266,697	
人件費(A)	97,500	194,900	193,800	201,700
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	309,787	423,541	460,497	477,418

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
不法投棄、不当排出廃棄物のパトロール 実施率	%	-	目標	95	100	100	100
			実績	100	100	100	
みどりのリサイクル受入件数	件	-	目標	3,000	3,500	7,000	8,000
			実績	7,632	7,486	8,307	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

・一般廃棄物処理基本計画に基づき、市内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別収集を徹底し、衛生的に処理する。
 ・不法投棄、不当排出対策、集積所の管理など、安全で衛生的な住環境を維持するため、環境美化活動を推進する。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り
 ・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロールを毎日実施するとともに、自治会等とも連携して環境美化活動に努めたことにより、地域の住環境を維持することができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	ごみ収集事業					477,418	275,718	23.9	8.0		2.0	
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						477,418	275,718	23.9	8.0		2.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) ごみ収集事業

◇事業目的・事業対象

家庭から排出されるごみを安全、衛生的に収集運搬を行う。

◇事業の概要

- ・ごみ・資源物の収集運搬業務委託(南区)
- ・連絡ごみ、小型家電回収の収集運搬(中区、南区)
- ・家庭から出た剪定枝等の回収「みどりのリサイクル」事業
- ・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬の実施
- ・ごみ集積所の適正管理
- ・地域の環境美化活動に伴う収集運搬などの支援

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和39年度	-	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	214,727	232,827	268,851	275,718
	決算	212,287	228,641	266,697	
	国・県支出				
	市債				
	その他	148,926	90,500		
一般財源		63,361	138,141	266,697	275,718
一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		97,500	194,900	193,800	201,700
人工	正規	11.7	23.9	23.0	23.9
	再任用(h31)	2.0	3.0	6.0	8.0
	再任用(h26)				
	非常勤	3.0	6.0	4.0	2.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
不法投棄、不当排出廃棄物のパトロール稼働率(%)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	95	100	100	100		-
実績値	100	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
みどりのリサイクル受入件数(件)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	3,000	3,500	7,000	8,000		
実績値	7,632	7,486	8,307			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ・ごみ・資源物の収集運搬業務委託(南区)
- ・連絡ごみ、小型家電回収の収集運搬(中区、南区)
- ・家庭から出た剪定枝等の回収「みどりのリサイクル」事業
- ・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬の実施
- ・ごみ集積所の適正管理
- ・地域の環境美化活動に伴う収集運搬などの支援

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・南区の家庭から排出されたごみ・資源物を適正な処理を行った。
- ・中区、南区の連絡ごみ、小型家電の回収を行った。
- ・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロールを毎日行い、住環境の環境美化に努めた。
- ・ごみ集積所の適正管理を行った。
- ・地域の環境美化活動に伴う収集運搬などの支援を行った。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・みどりのリサイクル事業について、日曜日の市内搬入場所を南清掃事業所に集約したことが周知されてきたことから、持ち込み件数が増加したが、所内の協力体制により混乱なく適正に処理することができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・引き続き、ごみ分別の啓発、指導や不法投棄、不当排出パトロールを行うとともに、環境美化活動団体等との連携を図り、衛生的な地域環境を維持していくための環境美化活動を推進する。

政策シート (政策名) 環境に配慮した資源循環型社会の構築

(予算費目名) 平和清掃事業所費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ・ ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- ・ 再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

○ごみ関連機関と連携を図りながら、一般廃棄物(ごみ)の分別の徹底と減量を推進する。
 ○不法投棄、不当排出対策、集積所の管理など、安全で衛生的な住環境を維持するため、環境美化活動を推進する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	533,314	535,995	621,823	637,959
決算	532,538	533,959	620,921	
人件費(A)	134,040	108,600	108,600	108,600
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	666,578	642,559	729,521	746,559

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
不法投棄、不当排出廃棄物パトロール実施率	%	100	目標	91	92	93	94
			実績	92	93	94	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

○ごみ関連機関と連携を図りながら、一般廃棄物(ごみ)の分別の徹底と減量を推進する。
 ○不法投棄、不当排出対策、集積所の管理など、安全で衛生的な住環境を維持するため、環境美化活動を推進する。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

・自治会等と連携して、ごみの分別、不法投棄ごみの回収や美化活動に努めたことにより、地域の公衆衛生の向上に寄与することができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	ごみ収集事業					655,540	548,740	15.0	0.5			
2	資源物処理事業					91,019	89,219		0.5			
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						746,559	637,959	15.0	1.0			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) ごみ収集事業

◇事業目的・事業対象

家庭から排出されるごみを衛生的に収集運搬することにより市民生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。

◇事業の概要

○家庭から排出されるごみの収集運搬業務を行う委託業者に対し衛生的かつ適正に業務を行うよう指導徹底する。

対象区域: 西区、北区

○不法投棄ごみや自治会等が行う環境美化活動に伴う収集ごみの早期回収により地域と連携して環境美化に努める。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
		一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	446,626	449,320	532,500	548,740
	決算	445,851	447,284	531,702	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	445,851	447,284	531,702	548,740
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		133,060	106,800	106,800	106,800
人工	正規	17.5	15.0	15.0	15.0
	再任用(h31)	0.6	0.5	0.5	0.5
	再任用(h26)				
	非常勤	3.0			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
不法投棄、不当排出廃棄物パトロール実施率(%)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	91	92	93	94	95	100
実績値	92	93	94			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

○家庭から排出されるごみの収集運搬業務を行う委託業者に対し衛生的かつ適正に業務を行うよう指導徹底する。

対象区域:西区、北区

○不法投棄ごみや自治会等が行う環境美化活動に伴う収集ごみの早期回収により地域と連携して環境美化に努める。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・全業務日254日中、不法投棄224日(88%)、不当排出254日(100%)、平均94%と、目標値93%を超えるパトロールを実施することができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・委託業者に対する指導徹底により適正な業務を遂行することができ、市民サービスの向上に繋がった。
・自治会等と連携して、ごみの分別、不法投棄ごみの回収や美化活動に努めたことにより、地域の公衆衛生の向上に繋がった。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

みどりのリサイクルや地域の環境美化活動などに伴う収集運搬業務が増加する一方で、逆に職員数は徐々に減少することから、事業の質を維持する見直しが必要である。

事業シート (事業名) 資源物処理事業

◇事業目的・事業対象

○ペットボトル、プラスチック製容器包装及びびん類の中間処理(圧縮、選別、異物除去等)を行い、資源物の適正活用を図る。
 ○容器包装廃棄物の排出を抑制し、ごみ処理による環境への負荷を軽減するとともに限りある資源を有効活用する。

◇事業の概要

○家庭から排出されるペットボトル及びプラスチック製容器包装の中間処理を専門業者に委託し、資源物の適正処理を行う。
 対象区域: 中区、西区、北区
 ○家庭から排出されるびん類の中間処理を専門業者に委託し、資源物の適正処理を行う。
 対象区域: 天竜区を除く区域

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
		一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	86,688	86,675	89,323	89,219
	決算	86,687	86,675	89,219	
	国・県支出				
	市債				
その他	一般財源	86,687	86,675	89,219	89,219
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		980	1,800	1,800	1,800
人工	正規	0.1			
	再任用(h31)		0.5	0.5	0.5
	再任用(h26)				
	非常勤	0.1			

◇事業の指標(H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

○家庭から排出されるペットボトル及びプラスチック製容器包装の中間処理を専門業者に委託し、資源物の適正処理を行う。

対象区域: 中区、西区、北区

○家庭から排出されるびん類の中間処理を専門業者に委託し、資源物の適正処理を行う。

対象区域: 天竜区を除く区域

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・改善、見直しの余地なし。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・改善、見直しの余地なし。

政策シート

(政策名) 環境に配慮した資源循環型社会の構築
(予算費目名) 浜北環境事業所費

(総合計画体系)

「分野」	環境・エネルギー
30年後の姿	豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。
10年後の目標	<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。 再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

一般廃棄物処理基本計画に基づき、浜北区内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別収集を徹底し、衛生的に処理する。
また、不法投棄、不当排出廃棄物のパトロールや啓発活動を行い、安全かつ衛生的な地域環境を維持するための環境美化活動を推進する。

◇政策のコスト(千円)	H27	H28	H29	H30
予算	238,160	248,930	314,008	294,942
決算	236,407	245,376	306,210	
人件費(A)	187,840	207,340	206,640	197,680
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	424,247	452,716	512,850	492,622

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
浜北区内の家庭系一般廃棄物の内、可燃・不燃ごみの区民1人1日あたりの排出	g	465	目標	482	480	480	478
			実績	484.5	489	486.8	
区内におけるリサイクル率(%)【集団回収・緑のリサイクル・小型家電を除く資源ごみの量/ごみの排出量】(※～H30)	%	20	目標	10	11	11	—
			実績	7.4	4.9	4.9	—
みどりのリサイクル受入件数 (※H30～)	件	6,000	目標	—	—	—	5,400
			実績	—	3,706	4,324	

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

一般廃棄物処理基本計画に基づき、浜北区内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別収集を徹底し、衛生的に処理する。
また、不法投棄、不当排出廃棄物のパトロールや啓発活動を行い、安全かつ衛生的な地域環境を維持するための環境美化活動を推進する。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	遅れている
<p>ごみ減量の推進については、1人1日あたりのごみ排出量が目標値の1.4%増ではあるが、前年度より、わずかに減少した。 また、資源循環型社会の形成に向けてのリサイクルの推進の取り組みについては、目標値に対する実績が4.5%と低いため、引き続き啓発活動を進めていく。</p>	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	ごみ収集事業					383,954	250,814	18.9			0.3
2	資源物処理事業					83,474	43,434	4.2	2.8		0.2
3	浜北環境事業所運営経費(一般諸経費のみ)					25,194	694	3.3			0.5
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						492,622	294,942	26.4	2.8		1.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) ごみ収集事業

◇事業目的・事業対象

清潔な生活環境の保全を図るため、浜北区の家庭から排出されるごみを適正に収集運搬する。

◇事業の概要

- ・浜北区の家庭から排出されるごみの効率的かつ衛生的な収集運搬
- ・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬の実施
- ・ごみ集積所の適正管理
- ・ごみ収集運搬業者への適切な指導

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S49	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	193,943	204,626	269,866	250,814
	決算	192,525	201,350	262,205	
	国・県支出				
	市債				
	その他		347	375	300
	一般財源	192,525	201,003	261,830	250,514
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		115,580	143,580	140,780	133,140
人工	正規	16.4	20.4	20.0	18.9
	再任用(h31)				
	再任用(h26)	0.3	0.3	0.3	
	非常勤				0.3

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
浜北区内の家庭系一般廃棄物の内、可燃・不燃ごみの区民1人1日あたりの排出量(g)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	482	480	480	478	473	465
実績値	484.5	489	486.8			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ・浜北区の家庭から排出されるごみの効率的かつ衛生的な収集運搬
- ・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬の実施
- ・ごみ集積所の適正管理
- ・ごみ収集運搬業者への適切な指導

・事業の成果と課題

指標の達成度

浜北区内の家庭系一般廃棄物の内、可燃・不燃ごみの1人1日あたりのごみ排出量は目標値の1.4%増であり、概ね計画通り実施することができた。
しかし、可燃ごみの中には、リサイクルできる草木やプラスチック製容器包装が含まれていることもあり、みどりのリサイクル事業の啓発やプラスチック製容器包装のリサイクルについて周知していく必要がある。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

平成29年度からのごみ収集事業の委託にあたり、労務単価・収集車両の適正数などの見直しを実施し、4年間の一般競争入札を行い受託業者を決定した。
自己搬入者への受付対応については、シルバー人材センターへの委託を実施した。
祝日における連絡ごみ収集事業については、実施するかどうかを含め、実施方法等を費用対効果の観点から検討を行ない、平成30年2月から自己搬入を除き、実施しないこととした。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

自己搬入者の受付対応については、平成29年度に作成した「安全作業マニュアル」に基づき、正規職員が減少しても安全な作業ができる体制を構築し、再任用化が図られるよう検討する。

事業シート (事業名) 資源物処理事業

◇事業目的・事業対象

ごみ減量と資源の有効利用の観点から、市民が活発に事業参加することにより、市民協働による資源循環型社会の形成を目指す。

◇事業の概要

- ・浜北区の家庭から排出される資源物の収集運搬
- ・資源物の選別、圧縮・減容処理
- ・資源物の再商品化を図る
- ・資源物収集運搬処理委託業者への適切な指導
- ・市民への資源ごみについての啓発

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H9	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	43,499	43,434	43,434	43,434
	決算	43,384	43,432	43,434	
	国・県支出				
	市債				
その他	一般財源	43,384	43,432	43,434	43,434
	一般会計繰入金				
	人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		53,460	41,460	41,460	40,040
人工	正規	3.7	3.7	4.1	4.2
	再任用(h31)	3.0	2.0	2.0	2.8
	再任用(h26)	0.2	0.2	0.2	
	非常勤	5.8	2.8	1.8	0.2

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
区内におけるリサイクル率(%)【集団回収・緑のリサイクル・小型家電を除く資源ごみの量/ごみの排出量】(※~H30)				-		—
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	10%	11	11	—	—	—
実績値	7.4	4.94	4.89	—	—	—
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
みどりのリサイクル受入件数 (※H30~)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	—	—	—	5,400	5,500	6,000
実績値	—	3,706	4,324			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ・浜北区の家庭から排出される資源物の収集運搬
- ・資源物の選別、圧縮・減容処理
- ・資源物の再商品化を図る
- ・資源物収集運搬処理委託業者への適切な指導
- ・市民への資源ごみについての啓発

・事業の成果と課題

指標の達成度

区内におけるリサイクル率の目標値に対する実績は44.5%と昨年度と同様に低迷しているため、今後も、ごみ削減のため、引き続き、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の説明会を通して啓発を行っていく。

なお、浜北区内の大型商業施設等で民間による資源物の回収も実施されているため、リサイクルされている全体の量が把握できないこともあり、次年度から指標を改める。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

南清掃工場の減容施設の解体により受託業者の担当区域の見直しを行なった結果、東区・南区分のペットボトルの中間処理については浜北区内の処理業者で行なうこととした。また、自己搬入ごみの受付業務のシルバー人材センターへの委託化を実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

自己搬入ごみの委託内容を見直し、委託内容の拡大を進め、正規職員の削減を図る。

事業シート (事業名) 浜北環境事業所運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

--

◇事業の概要

--

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	718	870	708	694
	決算	498	594	571	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	498	594	571	694
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		18,800	22,300	24,400	24,500
人工	正規	2.5	3.0	3.3	3.3
	再任用(h31)				
	再任用(h26)	0.5	0.5	0.5	
	非常勤				0.5

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート (政策名) 環境に配慮した資源循環型社会の構築

(予算費目名) 天竜環境事業所費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ・ ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- ・ 再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

一般廃棄物処理基本計画により、市内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別を徹底し、衛生的に収集運搬処理する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	318,236	319,250	311,642	313,321
決算	314,624	315,639	307,886	
人件費(A)	91,800	134,800	137,300	134,600
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	406,424	450,439	445,186	447,921

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
天竜区内の家庭系可燃一般廃棄物の区民1人1日あたりの排出量	g	439	目標	447	447	446	445
			実績	483	472	475	
天竜ごみ処理工場焼却休止に伴う閉鎖業務	%	-	目標	100	-	-	-
			実績	100	-	-	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

一般廃棄物処理基本計画により、市内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別を徹底し、衛生的に収集運搬処理する。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り
市内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別を徹底するように指導し、衛生的な収集運搬処理ができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	ごみ収集事業					416,464	295,184	14.2	5.3		1.0
2	資源物処理事業					22,434	15,434	1.0			
3	天竜環境事業所運営経費(一般諸経費のみ)					9,023	2,703	0.8	0.2		
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						447,921	313,321	16.0	5.5		1.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) ごみ収集事業

◇事業目的・事業対象

家庭から排出されるごみを安全・衛生的に収集運搬する。

◇事業の概要

- ・天竜区の家庭から排出されるごみを、安全衛生的に収集運搬を行う。
- ・不法投棄、不当排出廃棄物の収集運搬を行う。
- ・ごみ集積所の適正管理を行う。
- ・ごみ収集運搬業者への適切な指導を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和45年度	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	302,794	301,200	293,585	295,184
	決算	299,182	298,106	290,239	
	国・県支出				
	市債				
	その他		1,576	1,594	1,488
	一般財源	299,182	296,530	288,645	293,696
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		56,800	119,700	123,980	121,280
人工	正規	6.0	14.1	14.7	14.2
	再任用(h31)	1.0	3.5	4.3	5.3
	再任用(h26)				
	非常勤	4.0	3.0	2.0	1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
天竜区内の家庭系一般廃棄物の可燃ごみ1人1日あたりの排出量(g)				-		—
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	447	447	446	445	444	439
実績値	483	472	475			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ・天竜区の家庭から排出されるごみを、安全衛生的に収集運搬を行う。
- ・不法投棄、不当排出廃棄物の収集運搬を行う。
- ・ごみ集積所の適正管理を行う。
- ・ごみ収集運搬業者への適切な指導を行う。
- ・ごみ収集車両の適正な更新を図る。

・事業の成果と課題

指標の達成度

天竜区内の一般廃棄物の削減に向け一時的な増加はあるが目標値に向けた指導が図られた。
今後は更なる減量に向け市民啓発に取り組んでいく。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

直営業務に携わる現場職員の不補充と新清掃工場の施設整備に向け収集体制の見直しを進めている。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

新清掃工場施設整備後の収集体制見直しまでは、現状において2施設間での委託化も含めたより効率的な収集体制を検討する。

また、ごみ減量に向け自治会やイベントを通じた啓発活動にも積極的に取り組んでいく。

事業シート (事業名) 資源物処理事業

◇事業目的・事業対象

ごみ減量と資源の有効利用の観点から、市民と協働による資源循環型社会の形成を目指す。

◇事業の概要

- ・資源物(プラスチック容器包装・ペットボトル)を選別、圧縮、減容処理する。
- ・資源物(プラスチック容器包装・ペットボトル)を再商品化する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成17年度	—	一般会計	自治事務(法令義務)	容器包装リサイクル法	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	15,442	15,425	15,434	15,434
	決算	15,442	15,425	15,433	
	国・県支出				
	市債				
その他	一般財源	15,442	15,425	15,433	15,434
	一般会計繰入金				
	人件費(報酬等) (千円)				
人工	人件費 (千円)	35,000	8,780	7,000	7,000
人工	正規	5.0	1.1	1.0	1.0
	再任用(h31)		0.3		
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
資源物の再商品化率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	2.4	2.9	3	3	3	3
実績値	2.8	3	H30.7頃			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ・資源物(プラスチック容器包装・ペットボトル)を選別、圧縮、減容処理する。
- ・資源物(プラスチック容器包装・ペットボトル)を再商品化する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

区内のプラスチック容器包装・ペットボトルの収集量が減らないように啓発活動を行い、再商品化率を維持することができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

環境美化推進員研修会や出前講座においてごみの減量や資源化への取り組み効果の周知を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

平成29年度に引き続きごみ減量の呼びかけと資源化のための分別指導を徹底するとともに新清掃工場での資源物処理事業に向けた整備を進めていく。

事業シート (事業名) 天竜環境事業所運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

天竜環境事業所の業務を円滑に運営していく。

◇事業の概要

- ・予算、庶務等に関する一般的な事務の実施。
- ・周辺住民との連絡調整の実施。
- ・事業所内の計量施設等の維持管理。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成17年度	—	一般会計	自治事務(その他)		—		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算		2,625	2,623	2,703
	決算		2,108	2,214	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源		2,108	2,214	2,703
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)			6,320	6,320	6,320
人工	正規		0.8	0.8	0.8
	再任用(h31)		0.2	0.2	0.2
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ・予算、庶務等に関する一般的な事務の実施。
- ・周辺住民との連絡調整の実施。
- ・事業所内の計量施設等の維持管理。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工